

令和2年度 上鶴間高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上(法令の遵守、服務規律の徹底)	職員行動指針を再確認し、勤務時間外や職場外の行動についても、教育公務員としての高い倫理観を持って行動する。	事故防止会議等で職員啓発・点検資料を利用し、教育公務員であることを常に自覚し、意識啓発を図った。また、朝の打合せ等でも、記者発表資料や新聞記事等を紹介し、常に身近な問題であることを確認し、注意喚起を行った。職員の公務外非行はゼロであった。
職場のハラスメント(パワハラ、セクハラ、マタハラ等)の防止	職員が一人で悩みを抱え込むことがないように風通しの良い職場環境を築き、ハラスメントを防止する。	職員間のコミュニケーションを重視し、信頼関係を高めると共に、常に管理職から職員へ声掛けを行い、風通しの良い職場環境を構築することができた。職場のハラスメント行為はゼロであった。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	セクハラ・わいせつ行為をゼロにする。	事故防止会議等で生徒の連絡先の適切な取得や管理方法を徹底して指導を行った。また、管理職による教科準備室等の巡回も定期的に行った。生徒に対するわいせつ事案はゼロであった。
体罰、不適切な指導の防止	体罰等の未然防止のための環境整備し、不適切な指導の発生を防止する。	部活動ハンドブックや「体罰の実態把握に関する調査」を活用し、部活動の教育的な意義を再確認し、体罰につながるような指導とならないように注意喚起を行った。不適切指導事案はゼロであった。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、成績処理、進路関係書類等に係る事故を未然に防止する。	入学者選抜、成績処理、進路指導等の各業務に対し、詳細なマニュアルを作成すると共に、事前に研修会を開催し、業務手順を確認して職員相互の共通理解を図った。一部でヒヤリハット事案が発生してしまったが、重大事案には発展することはなかった。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の流出・滅失を未然に防止する。	教務手帳の保管方法や、個人情報が含まれる電子データの暗号化フォルダへの保存に関して、繰り返し注意喚起を行った。個人情報の流出・滅失事案はゼロであった。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故の発生を未然に防止するとともに酒酔い、酒気帯び運転のゼロを維持する。	事故防止会議において職員啓発・点検資料を利用し、交通事故、飲酒運転防止の研修の実施や朝の打合せでの交通事故防止の注意喚起を行った。酒酔い、酒気帯び運転等の重大案件はなかった。
業務執行体制の確保等(情報共有、相互チェック体制、業務協力体制)	各種業務執行に際して、職員の意識啓発やシステムの適正化を図り、事故を事前に防止する。	各グループや学年団で業務の進行管理や情報交換を頻繁に行い、管理職からも的確な支援を行い、担当職員が一人で業務を抱え込まないように協力体制を図った。

財務事務等の適正執行	私費会計の適切な執行についての認識を深め事故の発生を未然に防止する。	財務事務調査の指摘事項を全職員で共有し、適正な会計処理に努めた。また、煩雑な会計事務を軽減するために、ネットバンクの積極的な活用を推進した。会計事務の事故はゼロであった。
------------	------------------------------------	---

○ 令和2年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和3年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

令和2年度上鶴間高等学校不祥事ゼロプログラムに基づき行動計画を設定し、具体的な取組を行った。上記検証結果のとおり、各項目とも目標を達成することはできたが、詳細に実施結果を分析すると、重大事故に発展しかねない事案もあり、引き続き取組を継続する必要がある。特に、生徒の進路に直結するような事故や教育公務員としての信用失墜行為に該当する事案が発生しないように、再度検証を行い、事故防止に努めたい。

<令和3年度に取り組むべき課題>

- 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止
- 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守
- 財務事務等の適正執行